

平成25年度みーもスクール活動

～現状と課題～

事業実施地：津和野町左鐙地区

26年3月8日 発表者 永田康寛

「みーもスクール」について

(目的)

❖ みーもスクールは、水と緑の森づくり事業の一環として、県内の小中学校の中から選定した学校(以下、「選定校」という。)において年間を通じた森林教育を行い、森と身近に触れ合い、森林の働きやその重要性を学ぶことを通じて、児童・生徒の森林に対する理解を深め、もって、県民参加による「水と緑の森づくり」の推進に資することを目的とする。

津和野地区対象校 : 左鐙小学校 + 左鐙牧童探検隊

左鐙「みーもスクール」の特徴

＝学校、地域、NPOとの協働＝

指定された学校だけでなく、左鐙
牧童探検隊（保護者、公民館）と
の地域連携で実施。

左鐙について

❖ 1. 地域背景

人口約300人、高齢者の割合が50%超

安蔵寺山の懐 清流高津川が流れる

平家伝説が多く残る

❖ 2. 学校教育

全学年7名

(4年生2、5年生1、6年生4)

❖ 3. 地域活動

左鐙公民館、

左鐙の将来を考える会、

sabumi subliminal Project,

杣の里よこみち



本年度の活動

❖ 活動のねらい

- ◆ 高津川を中心とした地元の森・川・海の連携を知り、素晴らしさを体感する
 - 川や森の働き・役割を知る

- ◆ 地元の生活・文化を通した学習材料を提供し、地域と学校の連携を進めていく
 - 自然と人間の関係を知る

本年度の活動一覧

	日時	内容	場所	実施主体	備考
①	6月24日	高津川の水質と ガサガサ	高津川、横道 川	左鐙小学校	
②	8月25日	ハマグリ稚貝調査	津田海岸	左鐙牧童探 検隊」	強風高波の ため中止
③	10月30日	川原の石を知っ て、使って	左鐙小学校	左鐙小学校	
④	2月4日	カンジキを作ろう	左鐙小学校	左鐙小学校	
参 考	10月30日	山口島根豪雨か ら学ぼう	津和野町名賀 豪雨被害地	左鐙小学校	未調整のた め中止

活動1-1. 水質検査

日時： 6月24日

講師： 田中誠二、豊田武雄

検査内容 :COD検査 場所:津和野町左鎧むつみ橋

- ❖ 検査結果:COD 生徒測定値は「4」.「4」.「7」となった。
- ❖ 考察:生徒たちは試薬が入った検査液を体温で温めた(長く握っていた)ために発色が増し、精度の再検査実施した。再検査を行い、COD数値は2となり、清流域であることの説明と、検査ミスについて学校を通して説明した。

まとめ (子ども達の感想)

- ❖ 初めてやったけど川の水を橋の上に引き上げるのが面白かった。
- ❖ あまり高津川の水が流れていなかった。
- ❖ アンダンテの人が「いい数字じゃない」と言っていたけど、理由がわからない。
- ❖ 検査はそんなに難しくなかった。
- ❖ 何回か続けて検査したいと思いました。



活動1-2 ガサガサ

場所：横道川（左鐙地区）

1 採集場所に入るときの注意：採集は、川下から川上へ向かって行う。

2 どんな場所で採集するか：水生生物は、石の表面や裏側にくっついていることが多い。石（少し大きいもの）の下流側にタモ網を構えておき、石を静かに取り上げてバケツに入れる。

3 石を取り上げた後の作業：石を取り上げた場所の小石や砂を足でかきまぜて、流れてくる水生生物をタモ網で受け止める。

まとめ（子ども達の感想）

- ❖ 面白かった。アミで魚を捕まえるのは難しい。
- ❖ 石の下にいる虫が色々いた。
- ❖ 川の中を歩くのは難しかったけど、色々な生物がいてよかった。
- ❖ ハイゴ(カワムツ)を捕まえたが、他の魚はいるのかなと思った。
- ❖ 水の中に入り気持ちよかった。水生生物が水の指標になっていると聞いて興味があった。



活動2.「石」を知って、使って

ねらい1: 上流、中流、下流の石を比べながら、川のはたらき知っていき、自然の不思議さや素晴らしさに関心を持つ



ねらい2: 石を使って、描いたり、色をつけたり、組み合わせたりしながら自分の思いを表現する。

石を観察する時は、濡らすとよくわかるよ
火成岩、堆積岩、
変成岩



まとめ（子供達の感想）

- ❖ 山の上のゴツゴツした「石」が海まで行くとあんなに丸くなっている。
- ❖ 1億年前にできた石と聞いてびっくりした。
- ❖ 石のことをいろいろ教えてくれてありがとうございました。
- ❖ 石を見ていつごろできたかが分かる渡辺さんがすごいと思った。
- ❖ 見方によって石の形がいろいろなものに想像できることが楽しかった。



活動3 「カンジキ」をつくろう



- 「かんじき」はなぜ作られたのだろう。
- 「かんじき」の種類 板樑、鉄樑、輪樑
- 竹の特性と曲げること
- ロープの結び方

まとめ（子ども達の感想）

- 竹を曲げるのが難しかった。
- ロープを結ぶことが難しかった。
- 思ったより大変な作業だった。
- ナタや針金を使ったのは初めてでしたが、面白かった。
- おじいちゃんが作っていたのが家にあるので、自分が作ったのと比較したい。

■ かんじきの履き方 ■

かんじきのひもの結び方



最近のかんじきはアルミ製のフレームにストラップバンドのついたものが登山用として用いられることが多いが、ここでは昔ながらのかんじきの履き方を紹介しよう



実施できなかった活動(集中豪雨被災学習)

活動	時間	主な活動の流れ	場所
事前学習	1時間	名賀地区の被害状況をまとめてみよう。 1. 当時の様子を知るために写真や記事があるか探してみよう。 2. 被害があった場所を地図に書いてみよう。 3. 雨量を調べよう。眼で見てもみよう。 4. 水をためる森の機能をもう一度学ぼう。	左鐙小学校
現場訪問	2時間	1. 当時の状況(解説)を聞こう。 ➤ 地元の方(10分) 森林・地質の専門家(10分) 2. 地域の状況を写真に撮ろう。 残っている人工物、壊れた人工物、無くなった人工物 変わらない自然物、壊れた自然物、無くなった自然物 3. 質問タイム(子供達の疑問)	津和野町名賀
まとめ	1時間	1. どうして水害が起きたのかいろいろな原因を考えて見よう。 (質問例)なぜ、大量の水がうまく流れなかったのか？ 2. 現場訪問の感想 自分達が取った写真説明	左鐙小学校

課題と提言

課題

1. 小規模校、全学年を対象とした授業
2. 授業の連続性

今後への提言

1. 幼児などと連携できる体験型プログラム創出(森の幼稚園との連携)
2. 住民を講師とした活動と外部者の役割の確認

？ 左鐙小学校の存続問題 ？

ありがとうございました

ご協力いただいた方々

- ❖ 左鐙小学校：中田校長、教員2名
- ❖ 左鐙牧童倶楽部：京村まゆみさん
- ❖ 左鐙の将来を考える会：増成晶子さん
- ❖ 左鐙公民館：益成主事
- ❖ 左鐙小学校、保護者の皆様